

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月7日

上場会社名 TCM株式会社

（コード番号:6374 東証・大証・名証第1部）

（URL http://www.tcm.co.jp）

代表者 取締役社長 田坂陸郎

（TEL.03-3591-8171）

問合せ先責任者 取締役経営企画部長 藤田浩司

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

（1）会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：無

（2）連結および持分法の適用範囲の異動の状況：有（連結 除外1社）

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	当期（四半期）純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	15,743	267	177	480
（15年3月期第1四半期）	（15,675）	（694）	（795）	（682）
（参考）15年3月期	74,257	1,074	859	316

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	5 08	-
（15年3月期第1四半期）	（7 21）	-
（参考）15年3月期	3 39	-

（注）平成15年3月期第1四半期は四半期決算を実施しておりませんので、（ ）内に概算値を記載しております。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	63,467	12,947	20.4	136 88
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
（参考）15年3月期	65,271	13,234	20.3	139 87

（注）当第1四半期より四半期決算を実施しているため、前年同期実績は記載しておりません。

（連結キャッシュ・フローの状況）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金および現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	1,215	344	18	5,275
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
（参考）15年3月期	3,162	354	4,160	4,375

（注）当第1四半期より四半期決算を実施しているため、前年同期実績は記載しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	33,000	700	150	1 59
通期	71,000	2,000	700	7 40

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる場合があります。

経営成績および財政状態

1. 経営成績

当第1四半期における当社グループを取り巻く環境は、企業収益の回復や設備投資の持ち直しなど一部に改善の兆候が見られたものの、デフレの長期化や世界経済に対する先行き懸念等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下において、当社グループは平成15年度を初年度とする中期経営計画「New Stage'03」の達成に向けて、生産、販売両面で収益の確保に全力で取り組んでまいりました。

< 当第1四半期の連結業績 >

当第1四半期の売上高は157億4千3百万円、営業損失は2億6千7百万円、経常損失は1億7千7百万円となりました。加えて、株主総会決議に基づき役員退職慰労金を計上したため、四半期純損失は4億8千万円となりました。

なお、当社グループでは除雪・公共投資関連製品等季節商品を抱えているため、第1四半期の売上高・利益は、例年、他の四半期に比し低く出る傾向にあります。当第1四半期業績は当初見込通りに推移しております。

< 事業の種類別セグメントの概況 >

産業車両では、国内販売は前年同期比で若干増加し、輸出はアジア、中近東向けなどを中心に大きく伸張、総じて好調に推移いたしました。また、海外の現地生産会社についても、欧州で落ち込んだものの北米、中国で大幅に増加いたしました。この結果、当部門の売上高は58億2千6百万円となりました。

建設車両では、輸出は主に北米向けで落ち込んだものの国内販売が増加し、その結果、当部門の売上高は17億7千5百万円となりました。

新分野では、トランスファークレーン、コンテナキャリア、走行台車および前期に開発した国産初のリーチスタッカーなどを中心に積極的な受注活動を展開いたしました。この結果、当部門の売上高は21億6千2百万円となりました。

2. 財政状態

当第1四半期末の財政状態につきましては、総資産は受取手形および売掛金が29億3千万円減少したこと等により前期末に比べて18億4百万円減少し、634億6千7百万円となりました。また、負債は支払手形および買掛金が9億1千6百万円減少したこと等により前期末に比べて14億7千2百万円減少し、504億6百万円となりました。株主資本は利益剰余金が4億8千5百万円減少したこと等により前期末に比べて2億8千7百万円減少し、129億4千7百万円となりました。

この結果、株主資本比率はほぼ前期末並みの20.4%となりました。

< キャッシュ・フローの状況 >

当第1四半期末における現金および現金同等物（以下「資金」という）は52億7千5百万円となり、前期末に比べ9億円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は12億1千5百万円となりました。これは仕入債務の減少額9億1千6百万円等による資金の減少があったものの、売上債権の減少額29億3千万円等による資金の増加があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3億4千4百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出2億4千5百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は1千8百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出4億4千万円に対し、短期借入金の増加額4億5千9百万円があったためです。

3. 当期の連結業績見通し

今後も厳しい経済環境が続くものと思われませんが、引き続き「New Stage'03」の目標達成に向けて収益の確保に全力で取り組んでまいります。

当期の連結業績見通しにつきましては、売上高710億円(前期比4.4%)、経常利益20億円(前期比+132.8%)、当期純利益7億円を予定しております。

なお、上記業績予想につきましては、平成15年5月22日の決算発表時に公表した数値と変更はありません。

四半期連結財務諸表等

1. 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目		前 期 (15.3.31)	当第1四半期 (15.6.30)	増 減
資 産 の 部	流 動 資 産	38,347	36,457	1,890
	現金および預金	4,375	5,275	900
	受取手形および売掛金	21,829	18,899	2,930
	たな卸資産	9,638	10,015	377
	繰延税金資産	1,264	1,082	182
	その他	1,299	1,235	64
	貸倒引当金	60	52	8
	固 定 資 産	26,924	27,010	86
	有形固定資産	17,181	16,831	350
	建物および構築物	5,267	5,206	61
	機械装置および運搬具	2,312	2,146	166
	土地	5,506	5,506	-
	賃貸用資産	3,460	3,359	101
	その他	633	612	21
	無形固定資産	1,000	989	11
	ソフトウェア	568	557	11
	その他	431	431	-
	投資その他の資産	8,742	9,189	447
	投資有価証券	2,692	3,045	353
	繰延税金資産	4,120	4,222	102
その他	2,439	2,325	114	
貸倒引当金	510	403	107	
資 産 合 計	65,271	63,467	1,804	

(単位：百万円)

科 目		前 期 (15.3.31)	当第1四半期 (15.6.30)	増 減
負 債 の 部	流 動 負 債	40,429	39,131	1,298
	支 払 手 形 お よ び 買 掛 金	12,895	11,979	916
	短 期 借 入 金	20,299	20,758	459
	1年以内に返済予定の長期借入金	1,196	866	330
	1年以内に償還予定の社債	2,000	2,000	-
	未 払 法 人 税 等	267	68	199
	賞 与 引 当 金	1,122	592	530
	そ の 他	2,647	2,865	218
	固 定 負 債	11,449	11,275	174
	社 債	2,000	2,000	-
	長 期 借 入 金	2,931	2,821	110
	繰 延 税 金 負 債	59	59	-
	退 職 給 付 引 当 金	6,393	6,292	101
そ の 他	64	102	38	
	負 債 合 計	51,878	50,406	1,472
	少 数 株 主 持 分	158	113	45
資 本 の 部	資 本 金	7,646	7,646	-
	資 本 剰 余 金	3,755	3,755	-
	利 益 剰 余 金	2,467	1,982	485
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	196	20	176
	為 替 換 算 調 整 勘 定	100	78	22
	自 己 株 式	338	338	-
	資 本 合 計	13,234	12,947	287
負債、少数株主持分および資本合計		65,271	63,467	1,804

2. 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目		当第1四半期 (15.4.1-15.6.30)	前 期 (14.4.1-15.3.31)	
経常 損益 の部	営業 損益 の部	売上高	15,743	74,257
		売上原価	12,590	59,349
		販売費および一般管理費	3,420	13,833
		営業利益	267	1,074
	営業外 損益 の部	営業外収益	233	469
		受取利息	25	118
		受取配当金	6	35
		受取ロイヤルティ収入	53	191
		持分法による投資利益	29	15
		為替差益	86	45
		その他	31	63
		営業外費用	143	684
		支払利息	77	362
		たな卸資産処分損	9	105
	その他	56	217	
	経常利益		177	859
	特別 損益 の部	特別利益	5	1,233
		固定資産売却益	0	1,094
		投資有価証券売却益	5	138
特別損失		346	2,786	
たな卸資産処分損		-	414	
投資有価証券評価損		-	114	
固定資産処分損		3	163	
役員退職慰労金		342	57	
事業構造改善費用		-	1,976	
貸倒引当金繰入額	-	60		
税金等調整前当期(四半期)純損失		517	694	
法人税、住民税および事業税		45	491	
法人税等調整額		40	884	
少数株主利益(控除)		-	15	
少数株主損失(加算)		41	-	
当期(四半期)純損失		480	316	

3. 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目		当第1四半期 (15.4.1-15.6.30)	前 期 (14.4.1-15.3.31)
資本剰余 金の部	資本剰余金期首残高	3,755	3,755
	資本剰余金期末残高	3,755	3,755
利益剰余 金の部	利益剰余金期首残高	2,467	2,799
	利益剰余金減少高	485	331
	当期(四半期)純損失	480	316
	役員賞与	4	15
	利益剰余金期末残高	1,982	2,467

4. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目		当第1四半期 (15.4.1-15.6.30)	前 期 (14.4.1-15.3.31)
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期(四半期)純損失(純損失：)	517	694
	減 価 償 却 費	873	3,779
	リース・レンタル用資産の取得による支出	551	2,702
	リース・レンタル用資産の売却による収入	207	1,265
	退職給付引当金の増減額(減少：)	101	566
	貸倒引当金の増減額(減少：)	115	53
	賞与引当金の減少額	530	159
	受取利息および受取配当金	32	153
	支 払 利 息	77	362
	投資有価証券評価損	-	114
	持分法による投資利益	29	15
	固定資産除売却損益(益：)	3	931
	投資有価証券売却益	5	138
	売上債権の減少額	2,930	2,250
	たな卸資産の増減額(増加：)	377	4,154
	仕入債務の減少額	916	2,030
	役員賞与支払額	4	15
その他の資産・負債の増減額	561	846	
小 計	1,464	3,726	
利息および配当金の受取額	33	154	
利息の支払額	35	379	
法人税等の支払額	246	338	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,215	3,162	
投資活動による キャッシュ・フロー	有形固定資産の取得による支出	245	1,672
	有形固定資産の売却による収入	83	1,568
	投資有価証券の取得による支出	161	300
	投資有価証券の売却による収入	8	1,261
	その他の投資の増加額(純額)	28	501
	投資活動によるキャッシュ・フロー	344	354
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金の増減額(減少：)	459	2,334
	長期借入れによる収入	-	1,670
	長期借入金の返済による支出	440	1,495
	社債の償還による支出	-	2,000
	自己株式の取得による支出	-	1
	財務活動によるキャッシュ・フロー	18	4,160
現金および現金同等物に係る換算差額	10	19	
現金および現金同等物の増加額(減少額：)	900	663	
現金および現金同等物の期首残高	4,375	5,038	
現金および現金同等物の期末残高	5,275	4,375	

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(1) 当第1四半期(平成15年4月1日~平成15年6月30日) (単位:百万円)

	産業車両	建設車両	新分野	部品・サービス	リース・レンタル他	計	消去または全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	5,826	1,775	2,162	3,707	2,272	15,743	-	15,743
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	-	-	-	289	-	289	289	-
計	5,826	1,775	2,162	3,996	2,272	16,032	289	15,743
営業費用	5,801	1,898	2,212	3,452	2,291	15,655	354	16,010
営業利益	25	123	50	544	19	376	644	267

(2) 前期(平成14年4月1日~平成15年3月31日) (単位:百万円)

	産業車両	建設車両	新分野	部品・サービス	リース・レンタル他	計	消去または全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	20,974	10,505	18,047	15,608	9,122	74,257	-	74,257
(2)セグメント間の内部売上高または振替高	-	-	-	1,143	-	1,143	1,143	-
計	20,974	10,505	18,047	16,751	9,122	75,400	1,143	74,257
営業費用	20,276	10,431	18,142	13,549	9,186	71,586	1,596	73,182
営業利益	697	74	94	3,201	64	3,814	2,739	1,074

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっています。

2. 各事業の主要な製品

(1) 産業車両... フォークリフト

(2) 建設車両... ホイールローダ、スキッドステアローダ

(3) 新分野... トランスファークレーン、コンテナキャリア、リーチスタッカー、コンテナターミナル管理システム、ハイリフトローダ、ドリルジャンボ、コンクリート吹付機、ベッセルダンプ、橋型路床運搬車、エレクター、アーティキュレートダンプ、ストラドルキャリア、スラグダンプ、アルミニウム溶湯運搬車、ベルトコンベアローダ、走行台車、除雪車、無人搬送システム

(4) 部品・サービス... 部品販売、車両の整備(点検、修理)サービス

(5) リース・レンタル他... 当社製品等のリース、レンタル他

3. 当第1四半期の営業費用のうち、「消去または全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は562百万円(前期2,305百万円)で、その主なものは提出会社の本社の管理部門に係る費用です。

2. 所在地別セグメント情報

(1) 当第1四半期(平成15年4月1日~平成15年6月30日) (単位:百万円)

	日 本	その他	計	消去または 全 社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	13,934	1,809	15,743	-	15,743
(2)セグメント間の内部 売上高または振替高	289	-	289	289	-
計	14,223	1,809	16,032	289	15,743
営 業 費 用	13,870	1,785	15,655	354	16,010
営 業 利 益	353	23	376	644	267

(2) 前 期(平成14年4月1日~平成15年3月31日) (単位:百万円)

	日 本	その他	計	消去または 全 社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	67,044	7,213	74,257	-	74,257
(2)セグメント間の内部 売上高または振替高	1,143	-	1,143	1,143	-
計	68,187	7,213	75,400	1,143	74,257
営 業 費 用	64,443	7,142	71,586	1,596	73,182
営 業 利 益	3,743	70	3,814	2,739	1,074

- (注) 1. それぞれの国または地域における売上高および資産の金額は、全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の合計額の10%未満であるため「その他」で表示しています。
2. 当第1四半期の営業費用のうち、「消去または全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は562百万円(前期2,305百万円)で、その主なものは提出会社の本社の管理部門に係る費用です。

3. 海外売上高

(単位:百万円)

	当第1四半期		前 期	
	その他	計	その他	計
海外売上高	4,798	4,798	18,639	18,639
連結売上高		15,743		74,257
連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	30.5	30.5	25.1	25.1

- (注) 1. 本邦以外のそれぞれの国または地域における売上高は、すべて連結売上高の10%未満であるため「その他」で表示しています。
2. 海外売上高は、提出会社および本邦に所在する連結子会社の輸出高ならびに本邦以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上高を除く)です。

(終)